

新型コロナウイルスのある「子ども会活動」のスタートにあたって

岐阜市子ども会育成連合会
会長 森下珠美

10月以降の子ども会活動のスタートにあたって、【新型コロナウイルスのある生活のための岐阜市総合対策（第3版）】に従って、以下のように各子ども会の対策を検討し、実施してください。また、計画の際には各活動場所の対策ガイドラインに従ってください。

なお、これらの対策が難しい場合は、これまでお伝えしてきたように、【活動の中止】もご検討ください。

1. 家庭での健康観察等

- 学校からの指示で行っている「健康チェック」を参加当日も行い、自宅で検温する。
- 体調不良の場合は、無理をせず、子ども会活動への参加を控えるよう伝える。

2. 活動前（当日）の基本的な感染症対策

- 活動場所には、入室者数の制限等がある場合があります。事前に確認ください。
- 当日、参加者の健康チェックを行い、参加者（子ども・育成者共）名簿を作成し、代表育成者は保管ください。（概ね2週間程度）
- 手洗い（集合時、活動後、トイレ使用后）、咳エチケット（マスクの着用）について、指導する。（日頃から家庭で手洗い、咳エチケットの徹底を周知する）

3. 活動場所（環境）の対策

- 活動場所（室内）の窓やドアを開け、十分に換気を行う。熱中症対策も考え、エアコン（ヒーター）使用時も常時、換気する。休憩時間には大きく開放する。
- 手洗い場、入り口に石鹸や手指消毒用アルコールを設置するなど、手指衛生を保てる環境を整備する。（手指用アルコールの購入の検討も）
- 活動の中で、共有で使用する用具は必要最低限度とし、使用する場合は使用後に手洗いや消毒を行う。
- 多くの子どもたちや育成者が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）の活動後の消毒は、使用する活動場所（公民館など）の管理者に確認し、その場所のガイドラインに従う。

4. 身体的距離を確保した児童の配置

- 机やイスは使用しないことが多いが、子ども間距離は2m（最低1m）程度保つよう、チェッカーフラッグ方式（または、同程度の距離間）に配置する。

5. 活動にあたって

- 活動中はマスクを着用し、大声で話すような活動は控える。
- 握手やハイタッチ、身体が接触するような活動は避ける。
- 活動中、子どもが体調不良を訴えた場合は、速やかに移動させるとともに、保護者の迎えがあるまで別室で待機させてください。なお、各保護者とは緊急連絡がつくよう、連絡方法等事前に確認ください。

【参 考】

新型コロナウイルスのある生活のための岐阜市総合対策（第3版）

岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部決定 令和2年9月1日